

スキーオリエンテーリング世界選手権大会 2009年3月3-8日 北海道ルスツリゾート

スキーオリエンテーリング世界選手権が北海道にやってくる。ヨーロッパ圏外はじめての開催。歴史の一瞬を目撃しよう。

2009年3月3日(火)~3月8日(日)
北海道ルスツリゾート
スキーオリエンテーリング
世界選手権大会 2009
3月3日(火) モデルイベント
3月4日(水) スプリントディスタンス
3月5日(木) ロングディスタンス
3月6日(金) レスト一般公開イベント
3月7日(土) ミドルディスタンス
3月8日(日) 国別対抗リレー

ルスツでコンパクトに開催

ルスツリゾートは2007年6月にフットオリエンテーリング全日本大会が開催された時、会場となった場所。このときのトレイン(競技地域)は会場より20kmほど離れた羊蹄山の麓。これをバス輸送で繋いだ。会場のルスツリゾート周辺の森は笹藪が人の背丈より高く、フット0にはあまり適していない。

ところがルスツは豪雪地帯。毎年冬になると笹藪を越える雪が降り積もり、あたり一面滑走可となる。近くの巨大ゴルフコースも雪の下に眠る。こうしてルスツリゾートの周辺に巨大なスキーオリエンテーリングのフィールドが出現する。

煌くリゾート

会場となるルスツは冬に煌く国内屈指の巨大スキー場を持つ、滞在型ウ

インターリゾート。施設内は華やかな雰囲気に入れ、これが北海道の山の中とは思えない快適でオシャレな空間。グルメ、お酒、アクセサリ。ここは都会の一角かと思わせるほど。

そんな快適空間から一歩外に足を踏み出した場所で世界選手権大会は開催される。スキーオリエンテーリング観戦とともにこうしたリゾートでの雪遊びが楽しめるのも今回の会場の特徴だ。

ルスツリゾートに向けて、東京・大阪・名古屋から多くのツアーパックが売り出されている。これに乗ってルスツを訪れるのが、安くて快適。各種ツアー情報はインターネットで検索してみてください。

スキー0を体験

スキー世界選手権の大会期間中、ルスツリゾートの周囲にトレーニングコースが常設される。

これは世界選手権に参加する選手やコーチが競技の前や合間に体を動かしたり技術や用具を確認するために設けられた練習コース。コースの周囲に立つと、各国の選手が練習しているところに出会うことができるかも。

コースの対象が世界選手権参加者であるため、スキー技術的に簡単な場所ばかりとは限らない。コース状況を現地で確認して、許可ができればコースを巡ることもできるかも。最低限のスキー0のマナーを確認してコースに出てみよう。

超人の滑り

両手両足を使って、推進力を得るク

ロスカントリースキーはまさに四駆。全身のバネをスキーという翼に乗せて雪上を飛び回る。ルート取りは自由。ターゲットはコントロールフラッグ。フトコロに抱いた地図を基に真っ白な雪原をナビゲーションで渡ってゆく。パワーと技術、野性と知性、自然と道具、世界選手権に出場する選手の滑りは美しい。

100名以上の超人が集まる世界選手権ルスツ大会。このナマの姿を会場で見に焼き付けてほしい。

(木村佳司)



前回のモスクワ大会ではすべての金メダルを独占したエドワード(ロシア)。これに対して北歐勢がどう挑むのか、日本はどう挑むのか、みどころのひとつ。



世界選手権2007(モスクワ)ロングディスタンス男子のスタート。競技はワンマンリレー形式で行われ、一斉にスタートする。世界のスキーオリエンテーリング選手たちが激しく火花を散らす瞬間だ。ルスツでは日本代表も各競技最大4名が参加する。日本以外は全員アウェイ戦。どれだけ超人たちに日本選手が食い込んでゆけるか見ものだ。